

『困る前に知っておくべき、 医療事故調査のやり方』 ～行動分析・死因究明・工学的分析～

医療事故調査制度がスタートして3年目を迎えているが「うちは関係ない」と思っておりませんか？
そう思い込んでいた多くの施設が実際の事故に直面し、悩み、困っている現実があります。
そうなったときにどうしたら良いのか、またどうするべきなのか、航空産業における事例も交え、
科学的な事故調査に必要な知識を得るための最適なカリキュラムになっています。

主催 一般社団法人医療安全全国共同行動／ImSAFER研究会

講師 河野 龍太郎 他
(株式会社安全推進研究所・代表取締役所長)



日時 2018.10.27 sat-28 sun
10:00～17:00 (受付9:30～)

会場 東京都看護協会 2階 大教室 東京都新宿区筑土八幡町4-17
(JR中央・総武線飯田橋駅 東口から徒歩7分)

研修会内容

- **目的** 医療関連死亡事例発生時における院内事故調査方法および技術の習得、スキルアップ
- **対象** 安全管理者、品質管理者、経営者
医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職員はじめ、病院管理者、病棟管理者、
医療安全管理者、部門におけるセーフティマネージャー、看護教育等 あらゆる方へ
- **内容** 1日目：講義形式、2日目：講義＋演習
- **申込方法** 医療安全全国共同行動ホームページからお申し込みください
<http://kyodokodo.jp/seminer/annai/20181027-28>
- **受講料** 一般施設の場合 1日間；10,000円 | 2日間；17,000円
会員施設の場合 1日間；8,000円 | 2日間；15,000円
※会員施設とは、医療安全全国共同行動に参加登録されている施設です
- **人数** 110名
※先着順です。定員になり次第、締め切らせていただきます

お申し込みは「医療安全全国共同行動」まで

プログラム（1日目：10月27日）		
	内 容	・講 師
10:00	コース説明、背景	河野 龍太郎 (株式会社安全推進研究所 代表取締役所長/ 自治医科大学医療安全学名誉教授/東京女子医 科大学 理事長特別補佐)
	医療事故調査制度について	
	調査担当者としての態度	
	調査に必要な知識（事故の構造、 行動モデル、委員会運営）	
13:00	航空産業における安全への取り組み	高橋 健 (日本貨物航空株式会社 安全推進室)
	調査技術の概要	河野 龍太郎
	医療機器からのデータ収集	酒井 基広 (東京女子医科大学病院 臨床工学部 M E 機器 管理室)
	事象データの整理	河野 龍太郎
	調査報告書の書き方	武市 尚子 (東京女子医科大学 医療安全・危機管理部/法 務部 弁護士)
17:00	終了	

プログラム（2日目：10月28日）		
10:00	病棟現場保存	川井 ひで子 (群馬県看護協会 常任理事)
	薬剤に関するデータ収集	鈴木 清志 (埼玉県立がんセンター 地検管理室/薬剤師)
	失敗しない現場写真の撮り方	春日 道也 (ImSAFER研究会シニアインストラクター/医療安 全全国共同行動)
	ヒアリング&インタビューの方法	鶴見 真理子 (自治医科大学附属病院 医療の質向上・安全推 進センター)
13:00	ヒアリング&インタビューの実践 ※グループワークによる模擬演習	鶴見 真理子
16:00	事故調査による現場改善の成功事 例「ASUKAモデル」	鈴木 清志
16:30	医療現場からの意見と要望	菅野 隆彦 (JA長野厚生連 下伊那厚生病院 内科部長)
17:00	終了	

プログラムは予告なく変更になる場合がございます。



一般社団法人
医療安全全国共同行動
いのちをまもるパートナーズ
Japanese Coalition for Patient Safety (JCPS)

一般社団法人 医療安全全国共同行動 〒113-0033
東京都文京区本郷2-29-1 渡辺ビル2階
TEL : 03-6240-0893 / FAX : 03-6240-0894
Email: secretariatpartners@kyodokodo.jp